

副市長レビュー（秋）調書

1 部局名 (課名)	土木部 (道路保全課)
2 協議事項 (案件名)	中心市街地の駐輪場整備について
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浜松駅周辺の市営駐輪場のほとんどで、収容台数を超える駐輪や放置自転車が多く見られ、安全で快適な歩行空間を阻害しているとともに、都市景観を損なう事態となっている。 ■ 平成 29 年の JR 高架下駐輪場内での火災や、盗難、破損などの事件も多く発生しており、これら盗難やいたずらへの不安から、“使い捨て感覚”で自転車を利用せざるを得ない人が多いと推察され、この事が“自転車放置”への抵抗感を低下させる主な要因となっている。 ■ 市営駐輪場は現在、無料で運営しており、“無料で留め放題”の駐輪環境は、気軽に自転車を利用できる反面、駐輪場の適切利用の意識低下や、“どこに留めても構わない”などの意識につながる可能性が高く、しいては「路上放置」「目的外駐輪」「乱雑な駐輪場」等の不適切利用の要因となっている。これら駐輪環境の悪化が、都市の魅力(価値)を低下させる一因であることから、抜本的な対策を早期に進める必要がある。
4 検討経過・課題	<p>【計画目標(案)】 「自転車利用者」「都心に集う歩行者」「行政(=市民)」の三者がメリットを得られるよう、自転車利用環境を抜本的に改善する。 ⇒ 都市の価値の向上(中心市街地の賑わいの創出など)、健全な行財政運営の実現を目指す [※有料による料金収入の自転車施策での活用]。</p> <p>【計画方針(案)】 「施設(スペック)」と「運営方法(有料化 など)」を改善する。</p>
5-1 方向性の提案(目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ■ R2 からの事業着手 [詳細設計着手] <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設・設備詳細設計(測量、構造設計 等) ・ 駐輪場運営(有料化の検討を含む)手法 [仕様等] 設計 <p>※喫緊の課題である自転車駐車場の整備検討を優先する。50cc までの原付も含む自動二輪の駐車場については、引き続き検討していく。</p>
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項(妥当性、必要性、有効性など)	<p>① 「駐輪容量拡大」と「有料化」の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐輪容量不足が顕著な中心市街地部(浜松駅周辺、鍛冶町通り周辺)を重点エリアとし、需要に見合う駐輪容量を確保する。 ・ 浜松駅周辺(JR 高架下)については定額制(長時間用)、鍛冶町通りについては従量制(短時間用)の有料化を検討する。 <p>② 事業実施に向けたスキーム(事業の枠組み)</p> <p>土木部、産業部、都市整備部、並びに各関係機関(JR、警察、高校、地元、各種協会、商業関係)で組織する『浜松市自転車等駐車対策検討会(H29～)』にて計画を取りまとめ。「西部高校生徒指導協議会」報告。事業者、地元とのWG実施。「浜松市自転車活用推進計画」の主要施策としてパブコメ実施。</p> <p>③ 運用に向けた工程(手続きの流れ)</p> <p>詳細設計 ⇒ 区協議会報告 ⇒ 議会報告 ⇒ 施設整備 ⇒ パブコメ(条例改正) ⇒ 議決 ⇒ 広報はままつ掲載 ⇒ 運用開始</p>

副市長レビュー（秋）調書

6 結果	<input type="checkbox"/> 提案どおり進める <input checked="" type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	具体的内容 自動二輪と原動機付自転車についても現状を確認し、市の考え方を再整理し、関係者と調整した上で考え方をまとめていく。
7 その他		